

7月の生活表

2021年 7月
聖マリア幼稚園

年主題：共に喜んで～すべての歩みの中で～

月主題：心ゆくまで

・保育日数 (14/20日)

月目標：(3歳)・聖歌を歌ったりお祈りすることが、生活のひとこまとなる。

- ・水遊び、フィンガーペインティングなど、心が開放される遊びの楽しさを味わう。
- ・自分の思いを保育者や身近な友だちに伝えようとし、態度やことばで表す。

(4・5歳)

- ・祈りの時に、一人ひとりが、共にいてくださるイエスさまを感じあって「アーメン」と声を合わせる。
- ・遊びの中で、表現すること・探求すること・交わることを心ゆくまで楽しむ。
- ・心身を開放して遊び過ごす中、夏を感じて楽しむ。

1学期の終了まで、あと20日となりました。先日のお手紙で「夏のお楽しみ会」の内容変更をお願いしました。ワクチンの接種がまだまだ行き届かない中で、またインドのデルタ株、更にもう1種も出現しているとのこと。やはり安心できない状況です。そして、オリンピックの開催に向けて多くの疑問符が投げかけられています。懸念する第5波と成りません様に。この夏休みの人流がほどほどであるように願います。予定通りの2学期が過ごせます様にと今から祈る気持ちです。

さて、4月からの3ヶ月間の幼稚園生活をどのようにお過ごしいただけたでしょうか。ご家族で楽しんでいただけましたでしょうか。昨年度に比べ、まだまだコロナ禍の中ではありますが、振り返れば、ギリギリで「春の遠足」が実施できました。様々な内容を含めての遠足でしたが、全てにおいてプラス思考でとの思いで進めさせていただきました。自己紹介を通して、まずは親子で「お知り合い」になっていただけたこと、各クラスの教員との関わりのもちも意図しました。

私たちは、各々のご家庭から大切なお子さんをお預かりさせて頂いていることの大きな意味と重責をいつも心していなければなりません。各々の子どもさんの育ちがあり、各々の学年での「集団」の中に、各々のクラス内でのお子さんの「育ち」という入園までの環境をしっかりと考慮しなければなりません。どんな場合であれ、私たちは、神様から「命の息」を頂きこの園にお越しいただけたこと、各々の年月の時間の営みを共に歩んで頂けることに感謝し、各々のお子さんとそのご家族をも含めて、私たちは理解し、安心して通園して頂けるように努力を重ねねばならないと考えています。子どもたちを守ること、それは子どもたちの心と体を守り、導くことであり、園での安心とともに、保護者の方との繋がりの中で、一人一人のお子さんがご家庭で「愛されている」のかどうかを知らなければなりません。愛されていれば、成長していく道程で、どんな困難なことがあったとしても、親の胸に飛び込み、安心してまた飛び出での挑戦を繰り返し、必ずや前進できるに違いないからです。自己肯定感もしっかり育めるからです。1学期の終了に向けて夏休みの過ごし方をご家族で話し合ってください。そして、日々の無事があってこそその明日であることを意識して、日々「感謝」の祈りをともに捧げて穏やかな夜を迎えていただけると嬉しいと思います。子どもさんの小さいおてとご家族の温かい大きな手を合わせて「祈る」時間を大切に！と。

《チャプレンコーナー》

7月月間主題：心ゆくまで

月 聖句：勇気を出しなさい。

(ヨハネによる福音書 16：33)

「勇気を出しなさい。」とイエス様は言われます。この言葉は、簡単には言えません。時と場合によっては、苦しんでいる人を、より苦しめる言葉にもなりかねないからです。この言葉が、真価を発揮するのは、苦しむ人に寄り添い、苦しみを共感し、重荷を共に担い、一緒に歩いていこうとするときです。イエス様はいつも、そのようにして人々を救ってこられました。

勇気は、新たな世界に飛び込もうとするときに必要なものです。まだ自分が経験したことのない局面、それだけに不安が一杯の時、新たな一步を踏み出すために必要な力が、勇気です。だから、子どもたちにとっては、毎日、いっぱい勇気が必要です。皆さんの記憶の中にも、愛する我が子が、初めて親の手を離れて幼稚園に行くときの、緊張した表情や、不安に満ちた泣き顔が、刻まれているのではないのでしょうか。あの日から時間も経ち、子どもたちは楽しく幼稚園に通っていますが、それでもきっと、毎日のように、初めて挑戦することに出会い、勇気を奮い起こしているのだと思います。

親にとっても、子育て中は、勇気が必要です。初めての子どもはもちろんのこと、二人目でも三人目でも、子育ては簡単ではありません。子どもの成長で出会うことには、いつも、緊張と不安が伴います。大人にも、勇気が必要なのです。

イエス様も、勇気が必要だったのでしょう。神の子として生まれながらも、生まれつき奇跡ができたわけではありません。日々、救いを求める人々と出会う時、その癒しの業には、きっと不安や悩みがあったことでしょう。きっとイエス様は、神様にお祈りしながら、勇気を求めておられたのでしょう。神様は私たちと共に歩んでくださいます。勇気を出して歩みましょう。

おたんじょうび おめでとうございます

<生活指導>

☆夏の生活習慣を身につけさせましょう。（自身の気付きと習慣の確立）

- ・ 日中の気温と、夜の気温の差を気にしながら、体調を整えましょう。
- ・ 自然の風を体感させましょう。（クーラーの使用頻度／適温設定27度に）
- ・ 手洗い、うがい・毎日の入浴（シャワー）・シャンプー・爪切り、耳あかなど、こまめにチェックしましょう。子ども自身でも気付くように。
- ・ 冷たい物の暴飲暴食を避け十分な休息・バランスの良い食事を摂りましょう。

☆夏の自然を親しみ、豊かな経験と活動をさせましょう。

- ・ 身近な自然に触れて観察し、不思議な世界を知らせましょう。
- ・ 夏の夜空・夕立・雷等の今の自然現象をご家族と共に親しみ、不思議を考えてみましょう。

☆コロナ禍とはいえ、今から夏休みの計画をしっかりと立ててみましょう。そして、子ども自身の心身共の自律（親の我慢が大切です）に向かって様々な経験を良い機会として捉えましょう。

- ・ 家の中でのお手伝いの計画（役割分担）も大切です。
- ・ お手伝いを通して、文字・数字、そして段取りをつけることなどにも親しむ機会を持ってみましょう。
- ・ 身近な所での身近な経験、続ける根気を養い乍らの時間利用を有意義に。
- ・ 時制（時の刻みを自分の身体で感じられるように）を身につけてみましょう。
- ・ 新しい経験の中に生き物の図鑑や地図などの活用をお勧めします。
- ・ 絵本をいっぱい読んであげられるように、お子さんと相談して取り組んであげてください。

（本の冊数のみでなく、1週間に何日読んであげられたかな？ 同じ本の繰り返しも大切です。）

（自分で読めても読んであげてください。子どもが読む時は声を出させてください。）

☆子どもの安心・安全に気をつけましょう。

- ・ 自転車のひとり乗りの時には、必ず！前を走らせて下さい。
- ・ 子どものおつかいには、常に安心安全を確認しましょう。
- ・ 子どもの居場所を常に把握しましょう。

☆親子の関わり方を改めて確認しあい、言葉かけ（褒める・叱る・注意を促す・赦すetc.）、態度（スキンシップ・話を聴き合う・相談する＝計画を立てる・受け入れるetc.）など、各々で振り返る時間をもってみましょう。

<クラス便り：各担任より>

<花組>

夜空に星が綺麗に瞬いているということ、暑い日にお庭で裸足になって遊んでいたらお水がとっても気持ち良いということ...自然を感じて、触れて、楽しさや喜びを味わう。それを家族やお友達や先生と笑い合い、思いを分かち合える...何て幸せなのだろうと思います。世界中の子どもたちがそうあって欲しいと願います。しかし、現実はとても厳しく、私たちにはただ祈ることしか出来ません。けれども、そのことを心に覚えて毎日毎朝子どもたちと「世界中の困っている人・苦しんでいる人たちをお守り下さい。」と神様にお祈りすることの大切さを忘れずにいたいと思います。

入園から3ヶ月、1学期も残すところ僅かとなりました。3ヶ月の間に、小花ちゃんを迎え、お隣のpre-preちゃんにはお友達が沢山増え、二階の保育室はとても賑やかになりました。月曜日と木曜日はpre-preちゃんのお友達が全員揃う日で花組さんも朝の自由遊びの時間をいつもよりもゆつたりと持ち、一緒に遊びます。そして、お片付けは花組さんがリードして出来るようにと取り組んでいます。「おねえちゃん！おねえちゃん！」と可愛いプレちゃんが後ろをついて回り、それに優しく「はい、どうぞ」とオモチャを差し出したり、場所を譲ったりする姿も見られます。花組さんは、お庭でもホールでもお礼拝堂でも赤組さん・緑組さんから何をするにも花組さん優先で、とても大切にしてもらっています。そんな花組さんが、二階の保育室ではちょっぴりお兄さん・お姉さんになります。まだまだご自分のことで精一杯の花組さんなのに、そんなことが出来るのかな。出来ます！マリアの縦の繋がりの賜物です。そして、4月から少人数ではありますが『花組』という集団で毎日園生活を過ごし、そこでお友達の存在を感じながら、一緒に様々なことに取り組む中で、自分のすることにお友達の反応があること。お友達の発言や行動に興味を持って、楽しくなった！笑った！怒った！等、色んな思いをしています。「〇〇ちゃん、お隣座ろう！」「いいよ！」と声を掛ける姿。ある時、みんなのパン給食の準備が出来始め、先生が「さあ、そろそろお祈りしましょうか～」と声を掛けました。先生はお友達が一人まだおトイレから帰って来ていないことも承知の上、もちろん待ちながらの言葉でしたが...慌てた様子の〇〇ちゃん！「先生！まって！〇〇くんがまだなの！まってあげて！」と真剣そのもの「〇〇ちゃん！大丈夫だよ！〇〇くんまってるよ～〇〇ちゃんは優しいな～。」「うん！」と。お友達を思い、気にかけて、それを先生に自分の言葉で一生懸命に訴え伝えることも出来るのです。近頃「先生～！」から始まるお喋りが本当に増えたと感じます。みんな自分の思いを今！伝えたい！ブロックで上手に作れた！以前ならば「見て～！」だけでしたが、「先生～これ〇〇ちゃんが自分で考えて色んなお色を使って作ったんだよ！凄いでしょ！」と、先生が褒めてあげたいポイントを全部ご自分でしっかりアピール出来るのには微笑んでしまいますが、成長を感じます。こうしてご自分の思いを『集団』の中でどんどん出せるように、そして、ご自分にも思いがあるようにお友達にも思い（気持ち）があるということを『集団』の中で感じて、他者にも目を向けられるようになって欲しいと思います。そうして、pre-pre-ちゃんとの関係も更に縦の繋がりがしっかりとしてくると期待します。その為にも、私たち周りの大人が会話や人への思いやり、「ありがとう」と発することの大切さも、しっかりと見せていってあげたいなと思います。

さあ！楽しい夏！がやってきます！1学期の締めくくりに「夏のお楽しみ会」もごぞいます。可愛い花組さんが一生懸命に取り組む歌にリズムバンドを、どうぞお楽しみに！

<赤組>

「僕の声聞いて！」とばかりに夜になるとカエルの合唱が聞こえてきます。同じように赤組の子どもたちもお歌が大好き！歌詞があやふやなところもありますが、緑組さんの歌だって口ずさむくらいお歌が大好きなんです。歌詞のイメージが頭によく浮かんでおり、ピアノに合わせてリズムカルに歌ってくれるので、私もとても楽しくピアノを弾いています。

そんな元気いっぱい赤組さんは、朝がとにかく早いんです。8時45分頃にはほとんどが登園しているため、朝からたくさん遊ぶことができます。最近の流行はバケツケーキ作りに大縄跳び。最初は男の子達のレースごっここの合間に作り始めたバケツケーキ。最初は私も含めて作っていたのですが、翌日は子どもたちだけで作ろうとしていました。ただバケツに砂と水を入れて固めてひっくり返してケーキにするというものなのですが、子ども達だけで作ってみると、水を入れすぎてべちゃべちゃになったり、砂ばかりになってすぐに崩れてしまったりとなかなかうまくいきません。どうしたらいいんやろう？と考える子どもたち。砂だんごを作っていた時に少し掘った粒の細かい砂の方が固まりやすいことを知っていた女の子が、粒の細かい砂を入れて固め始めました。そしてちょっとだけね、そう言いながら他の子が汲んできた水をジョウロから少しずつ入れました。そしてまた別の子がスコップで混ぜて、固めてを繰り返しました。それを見ていた他の子が「じゃあ私飾りつけのお花とサラコナ作ってくる」と駆けて行きました。ひっくり返してみんなでそーろっとバケツを持ち上げると見事にケーキの完成！今までの経験をもとに、友達と考えを出し合い、協力し合って何回もの試行錯誤を経てできたバケツケーキ。もちろん完成した時も嬉しそうでしたが、ひっくり返して崩れてしまっても「ああべちゃべちゃだね」「ふふふ、もう一回」と楽しそうだった子ども達。上手にできることももちろんですが、こうやって何回も失敗をしながらお友達と一生懸命に考えて力を合わせて作ったという過程が、子ども達にも楽しくて大事なことなんだと改めて感じたのでした。

また緑組さんの縄跳び熱に触発されて、赤組さんも挑戦している大縄跳び。♪郵便屋さん おはようさん～の歌に合わせて、こちら引っかけなくても何度も何度も繰り返し挑戦する子がいます。縄なしで歌いながらその場で跳んでタイミングを掴むと、随分と跳べるようになってきた子もいます。するとどんどん楽しくなってきた、もう一回もう一回！と真っ赤な顔をして跳んでいました。この大波は跳べなくても「ヘビさんやったら跳べるで」と自信満々な赤組もたくさん。ゆっくりヘビさんから超高速ヘビさんにしたり、縄に親しんでいたのでした。

こうした苦手なことにでもちょっとやってみたい、挑戦してみようという気持ちが出てきた子ども達。この気持ちは6月の約1ヶ月かけて頑張ってきた七夕制作から生まれてきた自信からだと思います。制作が好きな子もそうでない子も、ハサミや折り紙、のりで貼るということにもそれぞれ少なからず苦手なことはあったと思います。しかし何ができるんだろう、こんな素敵なお飾り作りたい！という気持ちで取り組み、少しずつできた！が積み重なり、できるやん！僕ってできる！という自信に変わってきました。その自信が新しいことへも挑戦してみようという原動力、やってみよう！やってみたい！につながっています。七夕制作ではペア活動も取り入れてみました。もちろん1人で作り上げることも大切ですが、難しい時困った時には先生だけでなく、お友達とも協力できること、助けてもらえることを知ってほしいと思ったからです。分からないところはペアで助け合って、励まし合って作りました。こうして取り組んだ七夕制作、今年は14作品になりました。早く見せたくて、持って帰りたくてウズウズしている子どももあります。今週末笹の葉とともに持ち帰ります、どうぞお楽しみに。

そして冒頭でも触れた赤組さんの元気な声、夏のお楽しみ会でお聞かせしたいと思います。好きな歌がありすぎて決められない！と言いながらも子ども達と共に聞かせする曲を選曲中で

す。夏のお楽しみ会に水遊びと楽しいことがたくさん待っている夏がもうすぐそこまでやっています。夏の暑さに負けず、思い切り楽しんでいきましょう。

<緑組>

緑組に進級して早1学期最終の7月を迎えます。簡単に言えば1年の1/3が終了する！ということです。2学期になれば就学が話題になることを思えば、この1学期に子どもたちがぶつかった壁は大いに意味のあるものであったと考えています。特に6月当初は、お家の方々にもご理解とご協力をいただき、降園後の遊びについて子ども自身が危険に対する認識を深め、自分たちの言動の意味や責任について、親子で考えるお時間を持ってくださいました。また最近、子どもたちの興味関心は各々に広がりや深みを帯びてきたように感じています。自分の好きなことを見つけ、関わることで自ずと自分と向き合うことになっていきます。「大昔のいきもの」「深海魚」「恐竜」「カタツムリ」「ピアノ」「ジャンピング」「昆虫」「バレエ」「サッカー」etc好きなものを極める！目標や目的を持つことは、社会の一員としての「自我形成」に必要なことだからです。こうして、自分自身との対話を通して内面が成長し、友達との関係性にも変化が見えてくるようになります。「僕が、私が一番！」の自己主張から集団で協力的に物事を考えようとする視野の広がりが出てくる「はず」です。園庭での「鬼ごっこ」や「泥巡」「だるまさんが転んだ」などルールある遊びを自己解釈ではなく、共有できるようになるのもこの年齢ごろの特徴です。一方で、幼稚園にあっては七夕制作をほぼ1か月かけて取り組んできました。この制作は、制作過程を敢えて説明し（言葉と見本を示すこともあれば、言葉なしで図解を使って示すこともあります）、言葉による理解と想像と展開を「ねらい」にしています。小学校の「学び」へとつながる時間です。小学校は「教科学習」ですが、幼稚園はそうではありません。例えば当園のカリキュラムで「七夕」という行事で捉えると、素話を通して「ことば」を知り、由来から「自然：星、宇宙（科学）、季節」に触れます。七夕飾りは手先の巧緻性や物の性質や質量（数的要素）、七夕スキップや星の子ダンスは体全体でリズムを「表現」、友達と協力することで「社会性」培います。テーマに沿って一連の活動が横に繋がりがながらもそれらを紐解くと「教科」に分けられるようになっていきます。「学ぶ」姿勢は、日常の経験の積み重ねです。子ども自身が先を見通すことは困難ですが、先を考えて何が「大事か」を考えて「準備」することは私たちにはできます。就学する子どもたちにとっての幼稚園生活を必然とは何か？子どもにとって優先される経験は何かを考えながら、就学に備えていかねばなりませんね。

さて7月。まずは七夕の笹飾り、そしてお誕生日会が待っています。そして、昨年は開催することができなかった「夏のお楽しみ会」が今年度は縮小しつつも開催できそうです！そして目下、子どもたちの楽しみは「DAY CAMP」です。こちらも宿泊は叶いませんが、子どもたちと何をして、何を食べて、どんな「特別」を過ごそうか...互いの希望を聞き、相談しているところです。こうした話し合いができるのも、やはり「緑組」！長らく赤組の花組の尻尾をつけて、なんとなく「緑組」になっていた11人の子どもたちも、その尻尾とお別れし「夏」を迎えられそうです。そんな成長した姿を保護者の方に見ていただける機会をどうぞお見逃しなく♪